

仏教美術史入門b

—日本の平安鎌倉時代とインドの仏像—

(1年 後期 2単位)

武笠 朗

授業のテーマ・目標

仏教美術（あるいは彫刻）の研究方法の基礎を学び、その上で日本の平安・鎌倉時代と、インドの仏教美術の代表的な作品を見る。平安時代の密教美術や和様美術、鎌倉時代の運慶や快慶の仏像、そしてさかのぼってインドにおける仏像の始まりなどを理解する。

授業の内容

- 1 ガイダンス・武笠のスタンス
- 2 仏教美術・彫刻の研究基礎知識
- 3 日本1 平安前期（密教美術）
- 4 日本2 平安後期（和様美術）
- 5 日本3 院政期
- 6 日本4 鎌倉1（運慶）
- 7 日本5 鎌倉2（快慶）
- 8 日本6 仏画と仏教工芸
- 9 インド1 パールフトとサーンチー
- 10 インド2 仏像の出現
- 11 インド3 ガンダーラ仏
- 12 インド4 マトゥラー仏
- 13 インド5 石窟寺院
- 14 インド・中国 本生図と仏伝図
- 15 まとめ

準備学習

資料・参考書で事前学習をしておくこと。

テキスト・教材

資料を配付する。

成績評価の方法・基準

試験80%、授業態度20%で成績を付ける。展覧会レポート等を課すこともある。

参考書

- ・『カラー版日本仏像史』（美術出版社）
- ・『日本美術全集』5・6・7・10（講談社）
- ・『世界美術大全集 東洋編』13・14インド 15中央アジア（小学館）
- ・宮治昭『インド美術史』（吉川弘文館）